

高度医療人材養成拠点形成事業（高度な臨床・研究能力を有する医師養成） タイプB 取組の概要と推進委員会からの主なコメント

代 表 校 名 (連携大学 名)	宮崎大学
事 業 名	世界を視野に宮崎で拍動する循環器臨床研究プラットフォーム構築と連動した高度臨床研究医養成事業
事 業 責 任 者	宮崎大学医学部長 菱川 善隆
事 業 の 概 要	
進みゆく超高齢化社会において健康寿命の延伸が喫緊の課題とされ、その中でも医療・介護を必要とする疾病原因の多くを占める循環器疾患の高度で安定した医療体制を求める社会の要請は高まるばかりである。本事業では、宮崎大学の基礎・臨床医学 17 分野で構成される【基礎・臨床連携循環器研究推進ユニット】と、宮崎県内 9 つの基幹病院で多施設連携臨床研究を加速させる【宮崎循環器臨床研究推進ユニット】が協働する『循環器臨床研究プラットフォーム』の構築を目指す。これと並行して、宮崎大学医学部では医学教育モデル・コア・カリキュラムで示された『RE:科学的探究』の修得に向け、入学後の早期からリサーチマインドを醸成するカリキュラムを編成し、研究者育成コースを充実させ、4 年次以降の診療参加型臨床実習を推進して「科学的探究心をもって日常診療に取り組む臨床医」を養成する。さらに、附属病院における医師の働き方改革を推進し、卒前から卒後臨床研修、大学院博士課程ヘシームレスな研究参画を可能にする環境を整える。関連企業との産学連携を基盤に測定機器や解析ソフトウェアの開発も進めながら、国際レベルで循環器臨床研究の成果を上げ、世界を視野に宮崎で拍動する循環器臨床研究プラットフォーム構築と連動した高度臨床研究医養成の実現を目指す。	
推進委員会からの主なコメント ○：優れた点等、●：改善を要する点等	
○基礎・臨床講座がユニットを作る研究チームは特筆すべきものがあり、体制は充実している。 ○これまでの論文実績は充実しており、研究プロジェクトは練られている。 ○課題が明確で、解決策が具体的であり、医学生、医師の育成バランスが良い。 ○医学生のホスピタリティにも配慮されている。 ○シミュレータ導入が計画されている。 ○既にチーム制や勤務時間内での研修設定がなされており、現実的に対応されている。 ○研究強化期間を設けるなどの取組も評価できる。 ○多くの学内の教員が参画しているが、運営委員会なども含め、オーガナイズされている。 ○資金調達なども検討されており、長期継続が可能と考えられる。 ●宮崎大学単独でどこまで遂行可能かどうか、国際レベルの臨床研究としてはまだ未知数である。 ●SA を 30 人の任用することの可能性について懸念がある。 ●会議の開催・参加は重要だが時間もかかるため目標とすることが妥当か検討することが望ましい。 ●医師の研究マインド育成に関する指標について具体的に示すことが望ましい。 ●4 年時からの診療参加型実習で問題がないかは検討することが望ましい。 ●データ管理を万全にしてほしい。 ●当事者の考えを汲み上げるシステムを構築することが望ましい。 ●産学がより多く関与することが望ましい。 ●他領域への展開も期待したい。	